

九州圏広域地方計画と九州ブロックにおける 社会資本重点計画について

「広域地方計画」と「地方ブロックにおける社会資本整備重点計画」の関係

	広域地方計画 ～長期的な広域ブロックのビジョン～	地方ブロックにおける社会資本整備重点計画 ～地方ブロックにおける社会資本整備の具体的計画～
目的	新たな国土形成計画（全国計画）が目指す『新時代に地域力をつなぐ国土』の形成に向けて、広域ブロックにおける 国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画 として定めるもの。	社会資本整備重点計画に基づき、各地方の特性等に応じて社会資本を重点的、効率的、効果的に整備するため、広域地方計画と調和を図り、地方ブロックにおける 社会資本整備の具体的な計画 として定めるもの。
計画の対象	国土の利用、整備及び保全に関する 府省にまたがる 施策全般	道路、空港、港湾、下水道、河川等の 社会資本整備事業
計画期間	今後 概ね10年間	令和12（2030）年度まで
対象地域	全国8ブロック ※北海道総合開発計画、沖縄振興計画とも連携して推進	広域地方計画の8ブロックに北海道と沖縄を加えた 全国10ブロック
根拠法等	国土形成計画法	社会資本整備重点計画（閣議決定）
計画に盛り込む内容（案）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国土の形成に関する方針 ■ 国土の形成に関する目標 ■ 目標を達成するために一の都府県の区域を超える広域の見地から必要と認められる主要な施策（広域プロジェクト） <ul style="list-style-type: none"> ◇ハード・ソフト一体となった施策パッケージ ◇広域プロジェクトを支える必要不可欠な広域性のある事業の中から代表的な事業を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会資本整備を取り巻く社会経済情勢（現状、課題等） ■ 今後の社会資本整備の方向性 ■ 社会資本整備の重点目標 <ul style="list-style-type: none"> ◇重点施策の達成目標を測定するための代表的な指標を整理 ◇期待されるストック効果、インフラマネジメントの方針を踏まえた取組も記載

『新たな九州圏広域地方計画』、『九州ブロックにおける社会資本整備重点計画』
の策定スケジュール(予定)

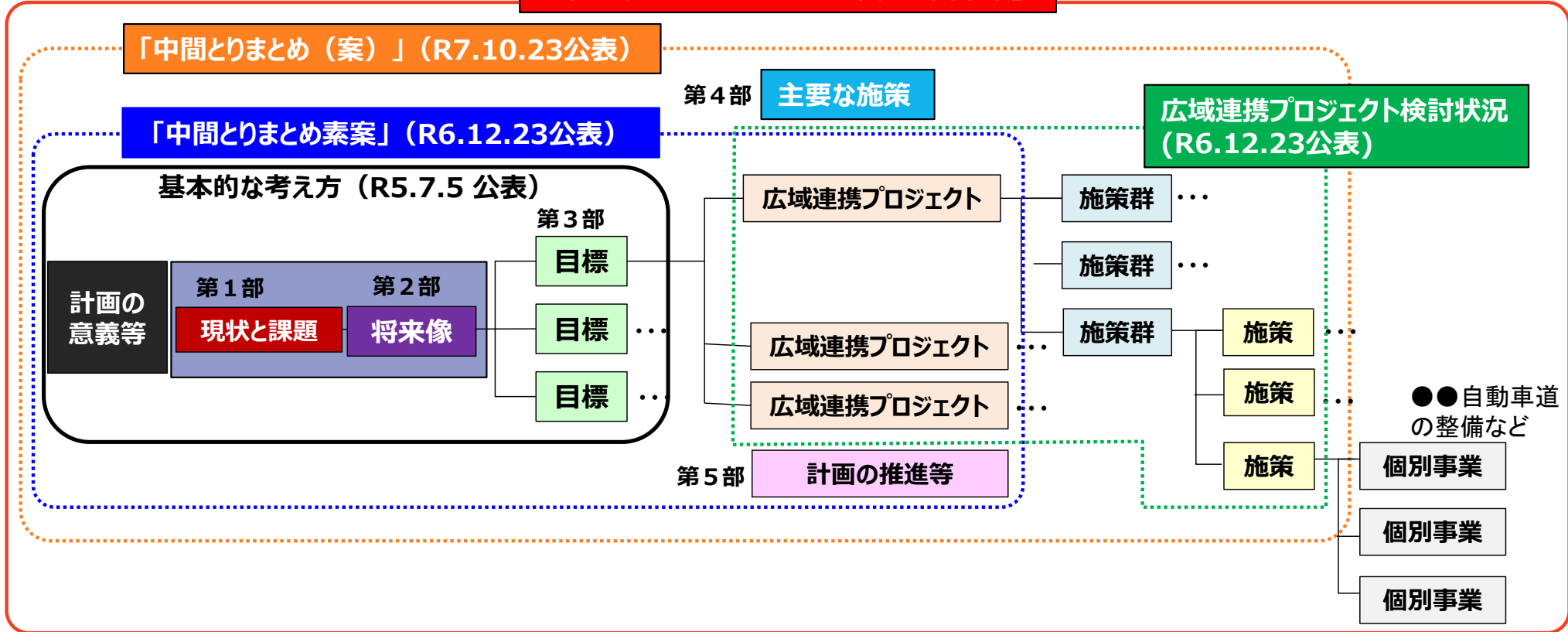
	<p>新たな九州圏広域地方計画 ～九州ブロックの国土形成に係る総合的・基本的計画～</p>	<p>九州ブロックにおける社会資本整備重点計画 ～九州ブロックの社会資本整備の具体的計画～</p>
<p>令和7年 9月 10月 ↳ 令和8年 4月28日 (今回) ↳ 6月頃</p>	<p>第8回九州圏広域地方計画協議会</p> <p>中間とりまとめ(案)公表</p> <p>第9回九州圏広域地方計画協議会</p> <p>パブリックコメント</p> <p>計画決定</p>	<p>有識者等との意見交換実施</p> <p>社会資本整備重点計画の 閣議決定</p> <p>九州ブロック国土交通懇談会</p> <p>パブリックコメント</p> <p>計画決定</p>

新たな九州圏広域地方計画における計画策定の流れ

計画体系イメージ

「新たな九州圏広域地方計画 計画原案」

※今回策定



- 計画の意義等** : 計画の意義、計画の位置付け、対象区域、計画期間など
- 現状と課題** : 圏域の強み・弱み、取り巻く環境の変化等を分析した内容と、現況への対応方針
- 将来像** : 課題を踏まえて目指す地域の概括的な方向性
- 目標** : 将来像で示された概括的な方向性を分野ごとに具体化した、計画を通じて目指すべき目標
- 主要な施策** : 「目標」を達成するために、広域の見地から行う必要がある主要な施策
 - 広域連携プロジェクト** : 目標を達成するために必要な広域性、戦略性、総合性、実効性の全ての性質を備えたプロジェクト
 - 施策群** **施策** : 広域連携プロジェクトを推進するための、より具体化された取組が施策、それらを小見出しでまとめたものが施策群
 - 個別事業** : 各主体が行う施策を構成する最小単位の事業
- 計画の推進等** : 多様な主体の参画・協働、他圏域との連携、他計画・施策との連携、計画の進捗管理など、計画の推進に必要な事項

新たな九州圏広域地方計画の構成

第1部 九州圏の現状と課題

- 第1章 位置・圏域規模**
 - 我が国の中でアジア大陸に最も近い圏域である、アジアの玄関口(ゲートウェイ)
- 第2章 人口動向**
 - 2050年には243万人(全体の19.3%)が減少見込み
 - 24歳以下の若い世代で転出超過傾向が顕著
 - 外国人労働者数は増加傾向
- 第3章 圏域構造**
 - 圏域各地に人口10万人以上の都市がバランスよく分散
- 第4章 公共交通**
 - 公共交通の利用者が長期的に減少傾向
- 第5章 産業・雇用・労働環境**
 - 農・漁・林業産出額は、全国シェアが大きい
 - IC(集積回路)の生産額が我が国全体の半数程度を占め、世界に向けたビジネスネットワークを形成
- 第6章 通商・貿易**
 - 貿易額は2022年に赤字へ転じたが、2023年には黒字化
- 第7章 流通**
 - 他圏域との貨物流動量は、隣接する中国圏が最多
 - 九州圏内の貨物流動は、福岡県中心の県間流動が多い
- 第8章 観光・交流**
 - 外国人延べ宿泊者数は、コロナ禍により減少し、2023年にはほぼコロナ禍前まで回復したものの、各県で需要の偏在傾向がみられる
- 第9章 災害と環境保全**
 - 風水害・土砂災害・火山災害や南海トラフ巨大地震等の災害リスクが存在しており、対応が急務
 - 再生可能エネルギーの出力制御が他圏域と比べて多い

第2部 九州圏の将来像

アジアの成長センター『アイランド九州』 ～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

第3部 将来像実現へ向けた目標

- <目標1> 成長エンジン「アイランド九州」**
～交流と変化を競争力～
 - 九州圏内及び国内外との交流・連携を強化
 - 基幹産業と新たな産業の発展による成長
- <目標2> 自立型広域連携「アイランド九州」**
～快適で幸福な暮らし～
 - 重層的な生活・経済圏の形成
 - 誰もが心豊かに住まう地域づくり
- <目標3> 強く美しい「アイランド九州」**
～持続可能でしなやかな社会～
 - 地域の安全・安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化
 - 美しく豊かな自然環境の保全と持続可能なエネルギーの利用拡大

第4部 九州圏における主要な施策(プロジェクト・施策)

- 【PJ1】アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点プロジェクト**
 - アジア等諸地域との交流・連携の促進
 - 国内各圏域とのシームレスな連結強化による交流・連携の促進
 - 九州圏に活力をもたらす国内外との交流・連携の促進
- 【PJ2】ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト**
 - 循環型連携の強化によるシームレスな九州圏の構築
- 【PJ3】強みや特色をいかした持続可能な産業振興プロジェクト**
 - 持続可能な産業の形成に向けた基盤整備
 - 新生シリコンアイランド九州の実現
 - カーアイランド九州の発展
 - フードアイランド九州の更なる発展
 - 観光アイランド九州の形成
 - 地域の特色豊かな産業の更なる発展と新たな産業の進出
- 【PJ4】中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト**
 - 中枢中核都市等を核とした自立型広域連携
 - 多世代交流の拠点となる都市コミュニティの再生
 - 地域を支える多様な人材が活躍できる環境づくり
- 【PJ5】離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ地域生活圏形成プロジェクト**
 - 交通ネットワークとデジタルの融合による地域生活圏の形成推進
 - 小さな拠点を核とした集落生活圏の構築による地域生活圏の形成
 - 地域生活圏を支える地域づくり・人づくり
- 【PJ6】経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト**
 - 地域の安全、安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化・強靱化
 - 人口減少下の国土の利用・管理
 - グリーン国土の創造
- 【PJ7】国内他圏域との連携プロジェクト**
 - 国内他圏域との交流・連携、広域的な機能の分散と連結強化

※主要なつながりのみ示しています

第5部 計画の推進等

- 多様な主体が、十分に連携・協働を図りつつ、各種施策の展開・具体化を推進
- 多様な民間主体の発意・活動を積極的に地域づくりに活かす取組を推進
- 中長期計画と連携・整合して計画の推進を図る
- 毎年度、各種施策の進捗状況を把握し、定性的または定量的な検証を実施